

連続シンポジウム

「世界哲学・世界哲学史を再考する」 第二回

# 世界における日本哲学を再考 する

【日時】

2021年3月25日(木)

14:00~16:00

【場所】 Zoom ミーティング

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZYpdeChrDsjGNWO462Rz-pKE7fveDd2whs2>

[NW0462Rz-pKE7fveDd2whs2](https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZYpdeChrDsjGNWO462Rz-pKE7fveDd2whs2)

※要事前登録



【言語】 日本語

報告者：頼住光子、苅部直、朝倉友海、納富信留（司会）

コメンテーター：郭馳洋

【プログラム】

趣旨説明（納富）	： 14:00~14:10
中世日本哲学と世界哲学（頼住）	： 14:10~14:30
近代日本哲学と世界哲学（苅部）	： 14:30~14:50
アジアの中の日本哲学（朝倉）	： 14:50~15:10
コメント（郭馳洋）	： 15:10~15:20
報告者の間での討論	： 15:20~15:50
まとめと今後の課題（納富）	： 15:50~16:00



東アジア藝文書院

『世界哲学史』（ちくま新書、2020年）では複数の章で日本の哲学を多角的に扱っている。

第7巻「第10章「文明」と近代日本」に執筆いただいた苅部氏、第8巻「第9章 アジアの中の日本」執筆の朝倉氏、別巻「第6章 道元と中世の日本哲学」執筆の頼住氏に報告いただき、日本哲学を世界哲学史という視点から改めて考察する。



【主催】

東京大学東アジア藝文書院（EAA）

【共催】

哲学会

【連絡先】

納富信留 notomi@l.u-tokyo.ac.jp